（1990年７月13日 第三種郵便物認可）

自治労きょうと

毎月１日、15日発行

9/15・10/1
2023
第866号

発行所・自治労京都府本部・〒604－0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル２F
TEL.075－252－5932・FAX.075－231－4918　発行人・岡本哲也　編集人・増永浩子
定価　一部10円　本紙の購読料は組合費に含まれています。

ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみなさんのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。
TEL.075-252-5932　FAX.075-231-4918
E-mail : jichiro@jichiro-kyoto.gr.jp
http : //www.jichiro-kyoto.gr.jp/

自治労第97回定期大会 in函館

声を力に、一歩前へ

自治労は8月28日から30日の3日間、函館市・函館アリーナで第97回定期大会を開催。全国から代議員と傍聴を合わせて約３４００人が参加し、京都からは６人の代議員と傍聴者31人が参加した。２年間の運動方針などを決定し、役員選挙では新しく石上千博委員長（北海道）を選出。府本部からは増永副委員長が監査委員に選出された。

冒頭、主催者を代表して川本委員長は「すべての活動の根幹は組織の強さ。労働組合を働くものにとって頼りがいのある組織に輝かせるためには、各単組の活動にかかっている。また単組が今より一歩踏み出すためには、県本部、本部の力が重要。今大会のメインスローガンは『声を力に一歩前へ』とした。組合員一人ひとりの声を集め、組織の力に変えていく。日常的な組合活動により職場の課題を『一歩前へ』と進めていく。地道な活動を一歩一歩積み重ね、運動を進めたい」と話した。さらに「誰もが安心して働き、生活できる社会の実現に向け、重要な役割を担う地域公共サービスの現場で働く者の労働組合として取り組みを強化しよう」と訴えた。

▲増永副委員長

経過報告に続いて、第1号議案「２０２４-２５運動方針」、第2号議案「当面の闘争方針」など8つの議案が提案され質疑応答が行われた。

府本部からは経過報告で増永副委員長、議案で川戸書記長が発言。増永副委員長は、男女平等の推進を中心に①男女がともに担う委員会の活用と活性化、②府本部・単組の人材育成、③女性やマイノリティに対する取り組みについて発言。本部伊藤書記長から「県本部間の横のつながりや女性役員同士のネットワークなど参加しやすい取り組みを本部としても構築したい」と答弁を受けた。

川戸書記長からは、①地域手当の見直し、②指定管理や委託職場など公共民間職場の賃金改善、③組織強化に関してJichiroKyoto2024ユニオンカレッジの実施、④人権確立の取り組み、⑤参院選闘争の推進について発言した。本部伊藤書記長から「地域手当による自治体間格差が人材確保にも影響する。総務省には地域の実情に応じた制度運用を求めていく」等の回答があった。

▲川戸書記長

大会は、全ての報告・議案が承認され、石上新委員長の力強い団結がんばろうで閉幕した。

増永副委員長が監査委員に選出

任期満了を迎えた本部役員選挙が執行された。四役・執行委員は全て定数内の信任投票となり、全員が信任された。

８年間務めた川本委員長が退任し、新委員長には同じく北海道本部出身の石上千博さんが就任した。

京都府本部から、増永浩子副委員長が監査委員に立候補し、圧倒的賛成で選出された。

▲石上新委員長による発声で力強く団結ガンバローする参加者

府本部第88回定期大会
日時　9月30日(土) 13時開会
場所　ウイングス京都 イベントホール

次期参院選 岸まきこさんの擁立を決定

定期大会の第5号議案「参議院選挙闘争の推進」では、2025年7月に実施予定の次期参議院議員選挙に、現職の組織内議員・「岸まきこ」さんを擁立することが確認された。自治労は約2年後の選挙に向け、圧倒的勝利をめざして全力で取り組んでいく。

女性参画の推進を組合から

府本部男女がともに学習会開催

府本部は8月21日、京都テルサにおいて、第2回男女がともに担う府本部学習会を開催。10単組31人が参加した。冒頭、主催者を代表して岡本哲也府本部執行委員長が、「世界のジェンダーギャップ指数で日本は１４６カ国中１２５位と低い水準であり、あらゆる分野での女性参画は急務。労働組合としても引き続き粘り強い取り組みが必要だ」とあいさつ。

今回の学習会は自治労本部の青木真理子副執行委員長を講師にむかえ、8月28日から開催される第97回自治労大会で提案される「自治労ジェンダー平等推進計画～誰もが集う、持続可能な組織をめざす～」をテーマに行った。

講師は、「自治労全体の組合員のうち女性は46％を占めているが、大会や中央委員会への参加や組合役員への女性参画はなかなか進んでいないのが現状だ。自治労では２０１７年以降は『女性参画率30％』を目標に取り組んできた。その結果、現在の中央執行委員会では29人中9人が女性で参画率は33％となっているものの直近の本部大会においての参画率は24・7％であと一歩のところだ。また自治労ジェンダー平等推進計画では多様化する社会への対応としてLGBTQ＋など性的マイノリティへの取り組みも盛り込まれている」と話し、労働組合からの取り組みからも女性参画推進を進めることが重要だと訴えた。

双思交

函館大会の後五稜郭や記念館など土方歳三ゆかりの地を訪ねた。鬼の副長として隊士からも恐れられた新選組副長・土方歳三は、厳格な指導力と軍事的な能力で新選組をまとめ、局中法度を制定して隊の規律を高め、市中の治安監視とともに尊王攘夷派などの弾圧を行った▼江戸幕府の消滅とともに形勢は悪化し、鳥羽伏見の戦いや会津戦争など各地で転戦したのち、明治2年5月、箱館戦争に参戦して五稜郭で戦い、敵の銃弾に倒れて討死にした。記念館には土方が探し求めた古刀・和泉守兼定「之定」や「ゲーベル銃」など幕末の資料が数多く展示され、幕末の世界にタイムスリップした▼農民出身の土方の信念は「武士よりも武士らしく生き、新選組を天下一の組織とすること」。目標を定め、優先順位を決め、ルールを徹底し、それを維持することでリーダーシップをとり、常に責任を取る覚悟があったという▼函館の地で自治労は「声を力に、一歩前へ」をスローガンに2年間の運動方針を確認した。明確な目標と優先順位を決め活動を。（N）

視覚障害その他の理由で活字のままでこの本を利用出来ない人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等の製作をすることを認めます。その際は著作権者、または、出版社まで御連絡ください。

核も戦争もない21世紀に

原水禁・長崎大会に府本部女性部が参加

府本部女性部は8月7～9日、京都平和フォーラムに結集し原水禁世界大会長崎大会に参加した。

7日は開会式が行われたが、台風6号接近のため、原爆が投下された9日に予定されていた平和行進も閉会式も取りやめることとなった。代わりに9日はそれぞれの場所で黙祷を捧げて欲しいと伝えられた。天候のことで仕方がないとはいえ残念な気持ちでのスタートとなった。

8日は、分科会やフィールドワークは予定通り開催され、「佐世保フィルド・佐世保湾内をクルージング」に参加した。佐世保港・佐世保湾が一望できる弓張岳の展望台から、基地監視団体「リムピース」編集委員・篠崎正人氏の案内で、港に停泊中の空母等を見学。船舶の紹介や湾内には4段階の航行制限区域があり、その割合は湾内の8割を占めることを聞いた。

また、移動中の車内では米軍佐世保基地を中心に佐世保港の現状、他の米軍基地との関わり、佐世保での基地闘争の歴史、湾内クルージングでは海から見た基地の様子の説明をうけた。

核も戦争もない21世紀をめざす、反戦平和の取組みの一環として学ぶことができた。

助け合い・支え合いが大切

綾部市で豪雨ボランティア

▲酷暑の中での土砂の撤去作業

連合京都は8月25日から27日にかけて、台風7号による豪雨災害の影響により被害の大きかった綾部市において、復旧作業のボランティア活動を行った。連合京都の動員要請を受け、25日には各産別から約30人が参加。自治労からは府本部2人、八幡市職労1人が参加した。

今回の災害で綾部市、福知山市、舞鶴市など京都府中北部を中心に甚大な被害が発生した。特に綾部市では床上浸水や床下浸水が府内最多となり、活動は主に被災家屋等の清掃作業を請け負った。はじめに綾部ボランティアセンターで被災地の現状、説明を受けた後、綾部市志賀郷町の被災地に向かった。到着後、想像以上に荒れている現状を目の当たりし、現地に住まれている方達の大変さや不安さを強く実感した。

作業は二班に分かれ15分交代で行い、スコップを使って家屋に溜まった土砂や瓦礫などを撤去した。猛暑の中、熱中症対策を取り全員で協力しながら些細な事でも声を掛け合い、一軒の被災家屋の清掃作業を終えた。

作業が終了して被災住民から感謝の言葉を聞き、活動前には無かった安心した表情を見ることができた。本格的な台風シーズンを控え、現在でも被災地の大変さや不安さは続いている。今回のボランティアを通じて、地域のつながりや「助け合い」「支え合い」の大切さをより実感した。

個人ではなかなか参加しにくいボランティア活動だが、今後も何かあれば組合を通じた社会貢献活動として「助け合い」「支え合い」の場に積極的に携わりたいと思う。

▲土砂で埋まった室外機

Doing こちら女性部

パンづくりで交流

自治労京都市職女性部

自治労京都市職女性部は、7月14日（金）にラ・キャリエールクッキングスクールにおいてパン講習会を開催しました。開催日は平日の仕事終わりの取組でしたが、28名の参加がありました。

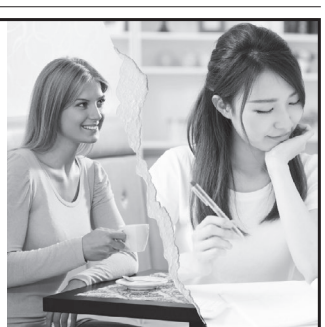
今回の講習は「ベーコンエピ」と「ミニバケット」の二種類のハード系パンです。

講師の説明を聴き、4人一グループとして同じ作業台でパン作りをしました。中にはうまく生地をまとめられず、講師やアシスタントの方のサポートを受けながら進める方もいました。初めて顔を合わす人たち同士で黙々と作業が始まりましたが、そのうち互いの進捗状況などについて声を掛け合うなど少しずつ交流も生まれました。

パンが焼けるのを待つ間に、事前に準備されたパンの試食会も行い、自分たちの作ったパンの出来栄えを想像しながら意見交換をしました。

緊張した表情で始まった講習会でしたが、焼きあがった自分のパンを持ち帰り用の袋に入れる頃には参加者全員がとても満足した顔をしていました。

こくみん共済 coop NEWS
5120B031
住まいる共済
火災共済・自然災害共済
風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済
あなたの住まいの保障 火事のときだけでは？
台風 豪雨 洪水 地震 のときの保障なら
自然災害共済
大型タイプ
火災のときの保障があっても、風水害や地震の保障があるとは限りません。
加入している保険や共済に風水害や地震の保障があるかを点検してみましょう。
自然災害共済は、火災共済に付帯してご利用いただく共済です。
不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。
こくみん共済〈全労済〉全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合
契約にあたってはパンフレットをご覧ください。
「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地（先）の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。
台風シーズン到来。保障の点検を。

2023年秋期
京都労働学校
受講生募集
10月～12月開講
受付中
スキルアップにチャレンジ！
New　AI/人工知能アプリ活用体験、コーチング入門
オススメ　ワーク・ライフ・バランスと労働法、３級FP、簿記
英会話：リスニングのコツ、ビジネス英会話、他

主催：京都市・ラボール学園（公益社団法人京都勤労者学園）
お申し込みは、WEB・電話にて 075-801-5925
受付時間：平日9:00～20:00、土曜9:00～17:00（日曜・祝日は休み）
詳しくはHP/講座案内をご覧ください。
中京区四条御前 ラボール京都3F
ラボール学園 検索